

5月7日～

新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための対策について

今後、感染拡大の予防と社会経済活動の両立を図っていくに当たっては、**特に事業者の皆様において提供するサービスの場面ごとに具体的な感染予防を検討し、実践することが必要になります。**



お客様や従業員の導線や接触等を考慮して、接触感染や飛沫感染それぞれのリスク評価を行い、そのリスクに応じた感染予防対策を講じてください。

- ・接触感染⇒共有物品(電話やタブレット、レジ等)や手が触れる場所(ドアノブやつり革、エレベーターのボタン等)
- ・飛沫感染⇒人同士の距離、マスクの着用

また新型コロナウイルス感染症から回復した方や医療関係者が**差別されることのないよう、十分な配慮が必要です。**

リスク評価とリスクに応じた対策の検討

感染経路の特定

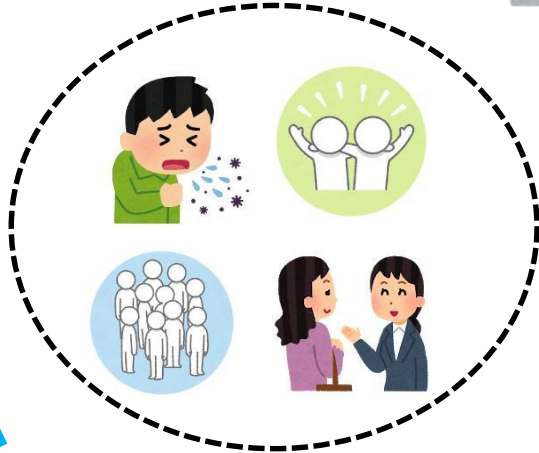


エレベーターの
ボタンは消毒を
徹底しよう

高頻度接触部位
(★が多いほど接触リスク高い)

休憩所	★★★★★
エレベーター	★★★★☆
レジ	★★★★☆
...	★★★☆☆
...	★★★☆☆

感染リスクの共有・評価



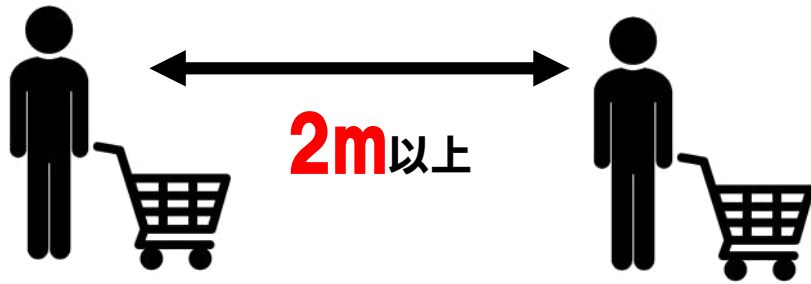
* 提供サービスごとに主な感染経路となる接触感染と飛沫感染の2点からリスク評価を行い、そのリスクに応じた対策をしてください。

感染防止
対策の実施



各業種に共通する感染拡大防止の留意点

人との**距離**を空けよう



感染拡大防止のための**入場者の整理**



手指の**消毒設備**の設置



施設内での**マスク着用徹底**



施設の**換気**



施設の**消毒**



事業者求められる具体的な対応事例

トイレ

ハンドドライヤー
はやめ、ペーパー
タオルを設置



トイレは蓋を閉
めてから流す。



休憩室

共有物品は定期
的な消毒を。



同時に休
憩する人数
は減らし、
換気をしっ
かりと



職場

対面する場所
では、アクリル板
などで遮蔽(しゃ
へい)



複数の人が触
れる物や場所
を少なくする・
消毒の徹底を



入口

発熱等の諸
症状を把握・
入場を制限



入場者等
を名簿で把
握・管理

